

採点項目表（検査）

起工番号 号
 検査番号 号

※ 該当項目の に数字「1」を入力する。
 （※印をつけた項目は主に現場検査時に確認できるもの）

2 施工状況

I. 施工管理

良	可	不可	無
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 施工計画書が提出されており、その内容も適切である。（大木町における500万円以上の工事）
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 簡易型の施工計画が提出されており、その内容も適切である。（ // 500万円未満の工事）
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 施工体制（コリンズ、外注計画等の提出物、腕章やヘルメット着用および段階確認）が充実している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 施工体制台帳が充実している。 （注文書・請書+約款、契約書写し、建設業許可証の写し）
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 施工体系図が適切である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ※水準点（ベンチマーク）を適切な管理のもとで設置しており、管理写真がある。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 該当工種の段階確認の管理資料及び写真が充実している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 建設廃棄物の適正処理が写真やマニフェストで確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 安全管理（安全訓練活動報告を含む）が適正に行われたことが確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 必要な足場・支保工が適正に設置されているのが写真で十分確認できる。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 総合評価方式の施工提案に関する確認資料が充実している。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 全体的に鮮明でよく整理された工事写真が提出されている。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ※現場代理人及び主任（監理）技術者の現場管理能力および取組姿勢が良好である。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> ※検査受験体制（測定人員・測定器具・ガードマン・検査足場等の準備）が適切に行われていた。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 特記仕様書に記載されている項目が適切に行われていることが確認できる。

$(\text{良} \times a + \text{可} \times b - \text{不可} \times c) / (\text{対象項目最大合計点}) = \text{ } \%$
 （項目が少ない場合は特例を使用してください）

判定

- 該当項目が80%以上・・・ a
- 該当項目が60～80%未満・・・ a'
- 該当項目が40～60%未満・・・ b
- 該当項目が20～40%未満・・・ b'
- 該当項目が0～20%未満・・・ c
- 該当項目が-40～0%未満・・・ d
- 該当項目が-40%未満・・・ e
- 直接入力 *主任（監理）技術者がよく現場を把握していない。・・・ d
- 直接入力 *下請契約報告書と実態が一致していない。・・・ d
- 直接入力 *検査時に主任技術者が不在であった。・・・ d
- 直接入力 *検査時に現場代理人もしくは請負者（乙）が不在であった。・・・ d
- 直接入力 *検査に対する受検態度が悪い。・・・ e
- 直接入力 *検査時に現場代理人もしくは請負者（乙）と主任技術者が共に不在であった。』
・・・ e または「再検査」

【施工管理の少数項目の特例】 （施工状況評価項目数が4個以下では下記で評定を行う）
 品質評価項目数=
 特例適用判断→

- 該当項目が40%以上・・・ b
- 該当項目が-40～40%未満・・・ c
- 該当項目が-40%未満・・・ d

3 出来形及び出来ばえ

I. 出来形

良	可	不可	無	【出来形管理表（管理図含む）の充実度】
				適正な出来形施工管理計画が提出されている。 出来形管理総括表の充実、および出来形数量総括表に不足がない。 管理項目（測点、変化点および測定値等）に不足がなく、その内容も充実している。 工程能力図（グラフ）の充実度（施工長が連続する100m以上もしくは側点数が5点以上の場合必要） ※出来形管理表や出来形展開図と現場実測数値との合致度（抽出したものでよい）
				【出来形管理写真の充実度】 作業工程（作業の流れがわかりやすい） 適正な施工状況（各種作業） 不可視部（基礎基面、根入れ、裏込め、鉄筋、杭頭、地中改良、構造物の背面、水没埋没、撤去物 など） 検寸状況（テープの張り方、目盛確認、計画と実績表示、黒板の表示内容と設置状況 など） 写真の鮮明度及び説明欄の充実
				【出来形測定への配慮】 ※現場表示（測点、墨上げ、展開図表示 など） ※業者作成の出来形展開図の出来栄え（測点、測線、設計値、実測値、差の値、コアの採取位置、B試験の位置、区画線の刻印位置などの記載）

$(\text{良} \times a + \text{可} \times b - \text{不可} \times c) / (\text{対象項目最大合計点}) = \text{ } \%$
 （項目が少ない場合は特例を使用してください）

判定

	該当項目が80%以上・・・ a
	該当項目が60～80%未満・・・ a'
	該当項目が40～60%未満・・・ b
	該当項目が20～40%未満・・・ b'
	該当項目が0～20%未満・・・ c
	該当項目が-40～0%未満・・・ d
	該当項目が-40%未満・・・ e
直接入力	重要部や主要部である不可視部分の出来形管理写真が不十分。・・・ d
直接入力	* 出来形管理数値と現地測定値に大きな差異があり、管理不十分なのが判明した。・・・ d
直接入力	* 手直しするほどではないが、設計図面等を軽視した施工が見受けられる。・・・ d
直接入力	* 実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により軽微な手直しを指示した。 ・・・ d（手直し指示書）
直接入力	* 実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により重大な手直しを指示した。 ・・・ e（手直し指示書+再検査）

【出来形の少数項目の特例】 （施工状況評価項目数が4個以下では下記で評定を行う）
 品質評価項目数=
 特例適用判断→

	該当項目が40%以上・・・ b
	該当項目が-40～40%未満・・・ c
	該当項目が-40%未満・・・ d

II. 品質

1 共通
良 可 不可

1			

【品質管理の充実度】
 適正な品質管理計画が提出されている。
 品質管理総括表の充実度
 材料使用願いがきちんと整理されて、もれなく事前に提出されている。
 ※承認した材料と使用した材料が同一の材料であり、良質であることが確認できる。
 管理項目の適正度、充実度
 コンクリート打設時の供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。
 各種試験成績 指定機関の各種試験成績証がもれなくある（対象箇所、個数）。
 段階確認の充実度
 工場検査の関連資料が充実している。
 品質管理資料について、主任技術者等による内容の理解、検証、説明が満足できる。

1			

【品質管理写真の充実度】
 見易さ、わかりやすさ
 鮮明度
 寸法検測 現場搬入時の検収写真が十分確認できる。
 重要構造物（基礎杭、基面、基礎材、型枠、配筋、かぶり、養生、検寸など）
 不可視部分の品質管理
 丁寧な施工が写真で十分確認できる。

1			
---	--	--	--

--

【品質確認】
 *遮水すべきところでの漏水がない。
 ひび割れ調査重要構造物（注1）のクラックについては「現場打コンクリート」で評価
 コンクリート・モルタル吹付工のクラックについては「種子・客土・厚層基材・
 コンクリート・モルタル吹付工・現場吹付法枠工」で評価

*0. 2mm未満のクラック（ヘアークラック）さえ見当たらない。
 *0. 2mm以上のクラックが存在する。
 *0. 2mm以上のクラックを適切に処理（注2）している。
 (注1)「ひび割れ調査重要構造物」とは、下記のものを示す。
 内空断面積が25㎡以上の鉄筋コンクリートカルバート類
 高さが3m以上の樋門
 橋梁上・下部工（ただし、PC橋は除く）
 高さ5m以上の鉄筋コンクリート擁壁（ただしプレキャスト製品は除く）
 高さが3m以上の堰
 高さが3m以上の水門
 その他これに類するもの

(注2)適切に処理しているとは、「進行性の場合は経過観察」「その他の場合は補修済み、
 または補修方針協議済み」を示す。

《応急仮工事》

(応急仮工事は施工の迅速性と安全性が特に重要であり、工種も多岐にわたるので品質項目については各工種から該当項目を抽出し対応するか「その他」の追加項目等を利用するものとするが、品質については最低限のものが確保されていれば「可」評価としてもよい。)

8 深礎工
良 可 不可 無

無

- 安全性など適正な掘削状況であることが写真で十分確認できる。
- 設置前の土留材（ライナープレート）の芯出し状況が写真で十分確認できる。
- 土留材（ライナープレート等）が良質で適正に施工されているのが十分確認できる。
- 土留材（ライナープレート）の傾斜度を適正に測定しているのが確認できる。
- 鉄筋の組み立てが適正なのが写真で十分確認できる。
- 土留材（ライナープレート）と地山との間に生じた空隙部の裏込注入が十分確認できる。
- ※施工位置（座標）が許容範囲内であることが十分確認できる。

（ケーソン等特殊工法は各種工程毎にその類似工種の項目を利用して評価する。）

9 地盤改良・安定処理工
良 可 不可 無

無

- 改良材が良質であるのが品質資料や写真等で確認できる。
- 改良の深さや範囲が施工状況写真や施工記録等で確認できる。
- 改良材の使用量が番号付き袋の投入写真で全量確認できる。（空袋管理のみは不十分）
- 改良材の巻き出し厚の管理を適正に行っていることが写真で確認できる。
- 各種ドレーン等の施工が適正に実施されたことが写真や管理資料で確認できる。
- ※十分な改良効果があったことが試験結果や現地で確認できる。

10 舗装工
良 可 不可 無

1

無

【路盤工】

- 路盤材が良質であるのが資料や写真等で十分確認できる。
- 路盤厚の基準高による測点毎の管理を実施しているのが明確に確認できる。
- 路盤厚が工事写真で明確に確認できる。
- 路盤の施工幅が写真で明確に確認できる。
- 路盤厚の掘り起こしによる管理で所定の個数を実施しているのが明確に確認できる。
- 路床・路盤の転圧が十分であることが施工写真で十分確認できる。
- 所定の現場密度の測定を実施し、その結果も適正である。
- 下層路盤工（路床）のブルフローリングを実施しているのが写真および資料で確認できる。

1

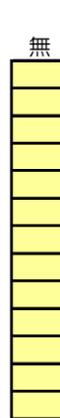
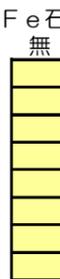
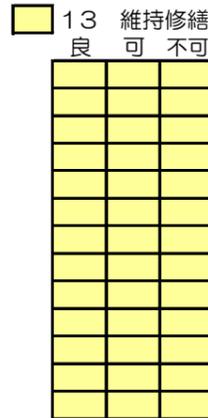
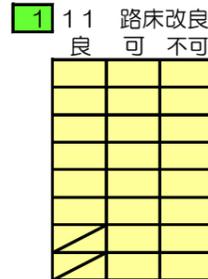
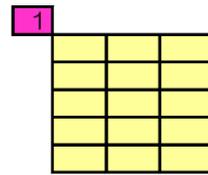
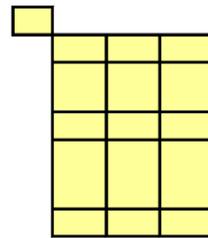
【アスファルト舗装工】

- 舗設状況が適正に行われているのが写真で十分確認できる。
- As 混合物の出荷時、舗設時の温度、並びに交通開放時の表面温度が適正に管理されている。
- 舗装厚の基準高による測点毎の管理を実施しているのが明確に確認できる。
- ※コア抜き状況写真が鮮明で、コア（現物）の目視により、厚さ、骨材、締固めが適正であるのが確認できる。
- 現場密度試験により密度を確認できる。（その十分な資料がある。）
- アスファルト量及び粒度分布が適切である。
- 乳剤散布量が適正であるのが、写真や資料で確認できる。
- ※隅々まで丁寧に転圧され、隣接構造物に損傷等を全く与えていない。
- ※排水性・透水性舗装の場合、排水ドレーン管等の適切な設置が写真で十分確認でき、透水性が良好であることが試験結果および現地試験で確認できる。
- ※平坦性が確保されているのが、平坦性試験および現地の状況で確認できる。
- 表層と基層及び加熱アスファルト安定処理層の各層の打継目のずらし位置が適切である。
- 舗装表面にあばたやローラーマークなどがなく良好に仕上げられている。
- 人孔蓋等がある場合、すり合わせが良くむらなく（凹凸なく）仕上げられている。

1

【ブロック舗装工（インターロッキング、平板、レンガ、自然石等）】

- 基礎面が適切に施工されているのが、写真で十分確認できる。
- ※ブロック舗装の据付は所定の表面勾配が得られている。
- ※施工目地が丁寧に仕上げられている。



【薄層カラー舗装工（すべり止め舗装、樹脂系舗装含む）】
 施工に先立ち基盤面の有害物を除去しているか乾燥状態で施工しているのが、写真で十分確認できる。
 使用材料が適切であることが、資料等で十分確認できる。（樹脂系バインダ、骨材、トップコート、）（コンクリート塗布はプライマあり）
 各施工状況が写真で十分確認できる。5度C以下、雨、雪のとき施工していないか。
 塗布量の空缶（缶）管理が、写真及び出荷伝票等で十分確認できる。（㎡当り、樹脂系バインダ1.9kg、骨材6.5kg、トップコート0.2kg、）（コンクリート塗布：プライマ0.2kg）
 舗装表面に、割れ、ひくれ、浮き、剥がれ等がなく、骨材の粗さもなく、良好に仕上げられている。

【区画線工】
 塗料の空缶管理が写真および出荷伝票等で十分確認できる。
 塗料の施工前攪拌を実施し、よい状態で施工したことが写真で十分確認できる。
 施工状況が適切であるのが確認できる。
 ※塗膜厚の測定結果が記録されており、現地で十分確認できる。
 ※刻印を打設しているのが写真や現地で確認できる。

11 路床改良工（F e石灰処理等）

良 可 不可

無

改良基面が平滑に仕上げられているのが写真で十分確認できる。
 改良材・置換材が良質であるのが資料や写真で十分確認できる。
 ブロック割りや投入袋数の証明で材料が所定の量使用されたのが写真で十分確認できる。
 改良の深さや幅が施工写真で十分確認できる。
 BH混合の場合、その攪拌が何度も丁寧に行われたのが写真で十分確認できる。
 締めめが各層ごと適正に行われたのが写真で十分確認できる。
 定められた締めめ試験を実施している。
 F e石灰単体の使用数量伝票による使用量の確認ができる。

12 路面切削工

良 可 不可

無

※路肩構造物等への損傷を与えず丁寧に施工している。
 路面切削後の検寸状況が写真で十分確認できる。
 切削や廃材処理が適正に行われたことが写真で確認できる。
 切削後、十分な清掃が実施されていることが写真で確認できる。

13 維持修繕

良 可 不可

無

日頃現場でのメンテナンスを実施していたことが写真や日報で確認できる。
 発生材を再使用する場合、発生材の取り扱いが丁寧であることが写真で十分確認できる。
 細々した作業でも丁寧に施工していることが写真で十分確認できる。
 現場再生工法等で施工が適正に行われたことが写真で十分確認できる。
 舗装版取り壊しが丁寧に施工されていることが写真で十分確認できる。
 廃材処理が適正に行われたことが状況写真で十分確認できる。
 各種注入材の品質が良質なことが資料や写真で十分確認できる。
 各種注入工が適切に行われていることが資料や写真で十分確認できる。
 ※グルーピングの溝幅・間隔・深さが適切に行われている。
 ※路上表層再生工や路上路盤再生工が適切に施工され、その出来栄も良好である。
 ※各種清掃工が適切に実施されていることが写真で確認できる。
 ※再使用材料等を丁寧に取扱い、さらなる損傷を与えていない。
 塵芥処理の場合、その施工状況が写真で確認できる。

1 14 道路安全施設・道路付属施設

良 可 不可

無

各種施設を適切に施工していることが確認できる。
 ※使用材料が良質であることが写真または目視で十分確認できる。

1 15 各種製品設置工

良 可 不可

無

基礎部（基礎コンクリート、削孔、取付具等を含む）の施工が適正なのが写真で十分確認できる。
 施工状況が適正であることが写真等で十分確認できる。
 ※製品が製品仕様書等で定められたものと合致している。
 ※設置状況が適切であり、所定の機能が確認できる。

16 鋼構造物（鋼橋含む）

良 可 不可

無

鋼材の員数照合がミルシート等で確認されている。
 有資格者による溶接の実施に関する書類と現地施工の関連性が十分確認できる。
 ボルトの締め付け確認が適正に実施され、その記録が管理されている。
 支承据付が適切に実施されているのが確認できる。
 ※溶接に不十分な箇所がなく適正に行われているのが確認できる。
 ※ボルトの締め付けが適正に行われているのが資料や写真で確認できる。
 ※使用鋼材の品質が良質であることが写真または目視で確認できる。
 各種部材の架設が適切に施工されたのが写真で確認できる。
 各種試験が適切に実施され、その成果が適正であることが写真や資料で確認できる。

17 橋梁付属工・補強工

良 可 不可

無

クラック・剥離状況等の事前調査をしたことが資料で十分確認できる。
 各工種の施工手順が写真で十分確認できる。
 足場・支保工が適切に設置されているのが写真で十分確認できる。
 全本数管理（削孔深さ）されていることが確認できる。
 ※伸縮装置が適切に施工されていることが十分確認できる。
 橋面防水が適切に施工されていることが十分確認できる。
 ※落橋防止施設が適切に施工されていることが十分確認できる。
 補強材が良質であることが資料や写真で確認できる。
 ※補強材の接着等適切に施工されていることが写真および現地で確認できる。

18 塗装工

良 可 不可

無

塗装する面が乾燥状態であることが写真で十分確認できる。
 ケレンが入念に実施されていることが写真で十分確認できる。
 施工時の天候、気温、湿度等の条件が整理・記録されている。
 塗料の施工前攪拌を実施し、十分な状態で施工したことが写真で確認できる。
 塗料の空缶管理が写真および出荷伝票等で十分確認できる。
 ※塗膜厚の測定結果が記録されており、塗膜厚測定器により現地で十分確認できる。
 ※塗膜に付着物が全くない。

19 水路
良 可 不可

- 無
- 施工基面が平滑に仕上げられていることが写真等で十分確認できる。
 - 捨石基礎の均し面が平坦に仕上げられていることが写真等で十分確認できる。
 - 裏込材が適正に施工されていることが写真で十分確認できる。
 - 胴込・裏込コンクリートが適正に施工されていることが写真で十分確認できる。
 - ※遮水シートの適切な施工が写真や現地で十分確認できる。
 - ※木杭が適切に施工されていることが写真や現地で確認できる。
 - ※水制工の施工が適切であることが写真や現地で確認できる。
 - ※土のう（大型含む）の施工（積み上げや止め杭等）が適切であることが写真や現地で確認できる。
 - ※使用製品のかみ合わせや連結が適切である。
 - ※使用石材の形状や径が適切で均一であることが、写真や現地で確認できる。
 - ※捨石工が適切に行われていることが、写真や現地で確認できる。

（石積・ブロック積（張）は「ブロック積・張（石・巨石含む）」等の該当項目に準ずる。）

20 かご工（袋詰含む）
良 可 不可

- 無
- 施工基面の施工が良好であることが写真等で十分確認できる。
 - ※止め杭の施工が適正であることが写真や現地で十分確認できる。
 - ※中詰石の径が適正であることが写真や現地で十分確認できる。
 - ※中詰石の密度が適正で、不純物が混入していないことが写真や現地で十分確認できる。
 - ※籠材が所定の規格を満足している。
 - ※中詰後の籠材そのものが変形していない。
 - ※鉄線や連結材等の突起や表面を危険がないように処理している。
 - 吸出し防止シートの敷設が適正なことが、写真等で十分確認できる。（背面が砂質土等の場合）
 - ※かごの設置状況が良好である。

21 ブロックマット工・連節ブロック工
良 可 不可

- 無
- 施工基面の施工が良好であることが写真等で十分確認できる。
 - 施工状況が適切であることが写真で十分確認できる。
 - 吸出し防止シートの敷設が適正なことが写真で十分確認できる。
 - ※固定方法が適切であることが写真や現場で十分確認できる。（固定ピン、連結具等）
 - ※勾配がきちんと保たれている。

22 根固めブロック製作工
良 可 不可

- 無
- 作業工程が写真で十分確認できる。
 - 型枠の組み立てが適切であるのが写真で十分確認できる。
 - コンクリート打設が適切に実施されていることが写真で十分確認できる。
 - ※製品に気泡跡等がない。
 - ※製品にクラックがない。
 - ※製品に傷や欠損がほとんどない。
 - ※製作数量が確認できるよう番号等を表示している。

23 根固めブロック設置工
良 可 不可

- 無
- 設置状況が適正なことが写真で十分確認できる。
 - 吸出し防止材の施工が適正であることが写真で十分確認できる。
 - 連結金具の設置が、写真により十分確認できる。
 - ※指定されたブロックの積み方が適正に行われている。
 - 水中施工の場合、水中の施工状況写真で十分確認できる。（常時濁り水の場合は無）

28 植栽工

良	可	不可

- 無
- 土壌試験（PH）を実施している。
 - 植穴、埋戻しが適正であることが写真で十分確認できる。
 - 肥料の分散、均一性を考慮し施肥されていることが写真で十分確認できる。
 - 障害物や有害物等の除去を実施していることが写真で十分確認できる。
 - ※樹木等に損傷や鉢くずれ等がなく、保護養生が適切に行われていることが写真や現地で確認できる。
 - ※余剰枝の剪定、整形等必要な手入れが行われていることが写真で十分確認できる。
 - ※高木植栽において支柱が堅固に取り付けられている。

29 除草工（伐木含む）

良	可	不可

- 無
- 作業員の配置等、安全な状態で施工していることが写真で十分確認できる。
 - 巨木の場合、枝落とし・小切り・除根など各段階の施工が写真で十分確認できる。
 - ※除根後の凹部を同等の材料で補修していることが、写真で十分確認できる。
 - 集草を適切に実施していることが写真で十分確認できる。
 - 搬出状況が適切であることが写真で十分確認できる。
 - 場外への飛散流出の防止に対する配慮が確認できる。

30 機械・電気設備(水門、井堰、排水機場、照明等等)

良	可	不可

- 無
- 品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が行われていることが資料で十分確認できる。
 - 材料・部品・機器の品質や性能がミルシート、カタログおよび品質証明書等（現場照会を含む）で十分確認できる。
 - 有資格者による溶接および溶接管理が適切に実施されていることが十分確認できる。
 - 塗装および塗装管理が適切に実施されていることが十分確認できる。
 - ※材料・部品・機器そのものが良質強固であることが写真や現地で十分確認できる。
 - ※操作制御等の実動の機能が十分確認できる。
 - ※製品の機能、性能に全く問題がないことが十分証明され確認できた。
 - ※わかりやすい操作説明板等が準備されている。
 - ※実動のための安全面での配慮がなされている。
 - ※総合運転の結果により、所定の能力が十分確認できる。
 - ※漏水等がなく、水密性が十分確認できる。

（その他「現場打コンクリート構造物」「鋼構造物」「塗装工」等の該当項目に準ずる。）

31 電気・電気通信

良	可	不可

- 無
- 仕様書等で定められた品質管理が行われていることが十分確認できる。（一般照明柱検査項目参照）
 - 単体品の必要な証明書類が全品十分確認できる。
 - ※単体品（材料・部品組立後）の設計図書等との整合が十分確認できる。
 - ※設備が設計図書等と整合していることが十分確認できる。
 - ※総合運転の結果により、所定の能力が十分確認できる。

32 上水道工事

良	可	不可

- 無
- 掘削時の土留め方法が適切に実施されていることが確認できる。

33 薬液注入工

良	可	不可	無

- 事前に井戸水位、水量、家屋調査、地盤の高さ等を調査し、変動がないかの管理が適正に行われていることが確認できる。
- 使用材料（硬化剤、助剤含む）の品質証明書の提出が十分確認できる。
- 使用材料（硬化剤、助剤含む）の入荷写真及び空袋管理で使用数量を十分確認できる。
- 削孔深さ、注入長が写真で十分確認出来る。
- 注入量、圧力等の施工管理が適正であることが十分確認できる。
- 注入効果が写真で十分確認できる。
- ※観測孔及び水質等の管理が適切に行なわれている。

34 橋梁における耐震補強・補修工事（共通工）

良	可	不可	無

- 使用材料が設計図に示されている要求性能を満足することが確認できる。（炭素繊維シート、コンクリート、ひび割れ注入材、高欄、伸縮継手、塗装仕様等）
- 使用材料（硬化剤、助剤含む）の品質証明書が提出されている。

35 橋梁耐震補強工事（炭素繊維シート工）

良	可	不可	無

- 下地処理が適切に行われている。
- 飛散防止処置が適切に行われている。
- 補強材（炭素繊維シート）は、施工中1回以上の付着強度試験を行い、その品質を確認している。
- 補強材（炭素繊維シート）にふくれ、剥離、端部のめくれ等がない。
- 継手部は所定の継手長が確保されている。
- 継手位置が適切に配置されている。
- 定着材（アンカー等）は引き抜き試験により、許容する引張強度が確保できていることを確認している。
- 使用材料（硬化剤、助剤含む）は気象条件に適した使用量、使用時間等の管理が行われている。
- 使用材料（硬化剤、助剤含む）の入荷及び空袋で検査員の立会が行われている。
- 積層部について、各層ごとに適切に写真管理が行われている。

36 橋梁耐震補強工事（RC巻立工）

良	可	不可	無

- アンカー工の削孔深さが全本数管理されており、十分確認できる。
- 下地処理が適切に行われている。
- アンカー工は引き抜き試験により、許容する引張強度が確保できていることを確認している。
- 全体的に増厚幅を確認している。
- 打設直後の初期ひび割れがない。

37 橋梁補修工事（コンクリート橋補修工）

良	可	不可	無

- 着工前に現場調査を十分に行い、実態にあった合った補修方法を監督員と協議した上で、施工が行われたことが確認できる。
- ひび割れ注入材の注入量が確認できるような適切な管理が行われた。
- 使用材料（硬化剤、助剤含む）の入荷及び空袋で監督員の立会が行われた。
- 断面修復の際、鉄筋の錆を確実に落とし、鉄筋の裏面まで防錆材による処置が施されていることが確認できる。

38 橋梁補修工事（鋼橋補修工）

良	可	不可	無

- 塗装に含まれる成分を把握するとともに、環境省令で定められる判定基準に対し、有害（PCB、鉛、六価クロム）と判断された場合、適切に剥ぎ取り方法が選定されている。
- 塗装に含まれる成分に応じ、剥ぎ取った塗装は適切に廃棄手続きが行われている。
- 飛散防止処置が適切に行われている。
- 着工前に現場調査を十分に行い、実態にあった合った補修方法を監督員と協議した上で、施工が行われたことが確認できる。

4.3 その他の品質項目（追加項目や特筆項目など）

良	可	不可

無

記入→	水路内掘削後にゴミ等の不純物がなく、きれいに施工されているのが写真で十分確認できる。
記入→	農地の畦畔や宅地等の法面に石等の不純物がなく、きれいに施工されているのが写真や目視で十分確認できる。
記入→	
記入→	
記入→	

(良×a+可×b-不可×c) / (対象項目最大合計点) = %
 (項目が少ない場合は特例を使用してください)

判定

- 該当項目が80%以上・・・a
- 該当項目が60～80%未満・・・a'
- 該当項目が40～60%未満・・・b
- 該当項目が20～40%未満・・・b'
- 該当項目が0～20%未満・・・c
- 該当項目が-40～0%未満・・・d
- 該当項目が-40%未満・・・e
- 直接入力 重要部や主要部である不可視部分の出来形管理写真が不十分。・・・d
- 直接入力 *出来形管理数値と現地測定値に大きな差異があり、管理不十分なのが判明した。・・・d
- 直接入力 *手直しするほどではないが、設計図面等を軽視した施工が見受けられる。・・・d
- 直接入力 *実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により軽微な手直しを指示した。・・・d (手直し指示書)
- 直接入力 *実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により重大な手直しを指示した。・・・e (手直し指示書+再検査)

【出来形の少数項目の特例】 (施工状況評価項目数が50個以下では下記で評価を行う)
 品質評価項目数=
 特例適用判断→

- 該当項目が80%以上・・・a'
- 該当項目が60～80%未満・・・b
- 該当項目が40～60%未満・・・b'
- 該当項目が20～40%未満・・・c
- 該当項目が0～20%未満・・・d
- 該当項目が0%未満・・・e

Ⅲ. 出来栄

- YES
- a 非常に優れている。
 - a' 優れている。
 - b やや優れている。
 - b' 概ね良好である。
 - c 普通である。
 - d やや劣っている。
 - e 劣っている。

判定